

館 報

お お く 寺

— おもな内容 —

- 2面……家庭教育、水あそび
- 3面……幼児教育、俳句
- 4面……美術展、成人式
- 5面……社会教育の重要性
- 6面……バレー大会、家庭の日
- 7面・8面……みんなの広場

発行編集 大熊町公民館  
印刷所 新栄社写真美術印刷



海は呼ぶ波は語らう  
子供らのころに

大熊町スポーツ少年団は七月二十九、三十日の二泊二日で野外研修を行なった。

参加団員の八十余名は、テントの張り方、飯ごうすいさんの実習を行ない、楽しい食事のひとときを過ごし、着る夜のキャンプファイヤーは子供達の心に永遠に消えぬ「心の灯」を点じたこととしてしよ。

へ燃えるよ 燃えるよ

炎よ燃える

火の粉をまきあげ

天までこがせ

へ照らせよ 照らせよ

まこるのこころ

炎よ燃えよ

闇夜を照らせ



# 家庭教育における「しつけ」の本質

大熊中校長 小野田禮常

去る七月十六日公民館における「家庭の日」普及懇談会に出席し「上手なしかり方」という映画を見て親の身勝手を見せつけられ、家庭教育の大事なことを感じさせられました。

特に、最近学校に対しての要望として徳育が挙げられてきているこのことは学校だけで行なえるものではありません。家庭教育にも大きな比重が占められている。家庭教育は家庭での子どもの教育である。即ち家庭という生活体に属する



## 水遊び安全な所で

安全で楽しい水遊びをするにはそれに適した「時間」と「場所」を選ぶことが大切です。時間・真夏の直射日光の強い日の午後二時前後の高湿時は疲労度が強く、特に初心者にはさけるようにした方が賢明です。水泳に適した水の温度は普通摂氏二二〜二三度以上、二四〜二五度がよいといわれています。水温の低い時は筋肉がちぢまり疲労度の強くなるのも早くなりますから、水にはいつている時

の判断で、自分の力でなし遂げ、その結果は自分の責任として他に転嫁しないということである。子どもに「自分のことは自分でする」ということをしつけているのは、結局この自律性を確立していくためである。このことは家庭教育の「しつけ」の中心的な命題であろう。ここで重要な点の一つは、独立心を養うということである。このことを他の面からいえば、安易に他人に（親を含めて）頼らないということになる。次は自律性の中味となる「自分としての考えと意見」の確立である。そのためには、くりかえし「お前の考えは」とか「お前はどうか考えているの」と問いかける必要がある。そのこととの反覆が、つまり「しつけ」なのである。もう一つは、自律性の中味となる判断力、批判力である。そして、その基礎となるのは、価値基準の確立である。この基準は

間に気をつけましょう。場所・危険のない安全な場所とは  
○水のきれいな場所  
○急流、渦巻、逆流などのない所  
○遠浅になっている所  
○水底に岩・棒くい、水草などのない比較的なめらかな所  
つまり水のような池や沼、橋の下や橋げたの所、丸太やいかだのある所は事故が多いので避けましょう。

両親の行動基準を手本として、知らず知らずのうちに自分の考え方を培っていくものである。第三は「倫理性」である。一口でいえば、人間社会の行動様式の修得である。子ども達にとつて最も身近な家庭という場で、家族との日常生活の中から自分の行動様式を学びとっていくものである。行動様式の中で最も基本的な事柄は「人に迷惑をかけない」ということである。これを知的にはなく体験的に身につけること、このしつけが必要である。

総勢三八四名の統合中学校としてクラブ活動を始めてから二カ月クラブ数も一五の大世帯である。グラウンドは使用不能のため、大野分室のグラウンド、体育館、町営体育館と分かれての練習。四時に学校が終り、各会場で練習開始が四時三〇分になる。各部ともいろいろな悩みをかかえながらも、六月十日の中生連総合体育大会当日を迎えた。各会場に分かれて熱戦をくり広げた結果、優勝は、伝統のあるバスケット男子のみ。

あとい歩というところで他の部は惜敗。反省点としてあげられる

ことはまず第一に、生徒全体の中からよりすぐれた選手が選ばれたにもかかわらず勝てなかったのはとりもなおさず、チーム・プレーの最大のポイントであるチーム・ワークがうまくいかないこと。お互いに助け合い励まし合う気持が十分に生かされていないことなどであろう。次に何といつても練習場所である。運動意欲の強いこの年代の生徒のためにも是非早急に解決していかなければならぬ問題である。それから練習時間である。時間はかかれればよいという訳ではないが、やはり運動量の多いのにこしたことはないが、二〜三時間は是非とも必要とされる。また、これから解決していかなければならぬ課題として、指導者についての問題がある。先生方の勤務時間は午後四時四〇分までであるにもかかわらず、全部の先生方が遅くまで指導している実態である。その実態を直視し、しかるべき措置が講じられるべきではなからうか。



## 中体連を

### かえりみて

大熊中 木幡けん子



# みんなを 力を合せて

熊町幼稚園 藤館静子

入園して三ヶ月もたつと、それぞれ子供おしの結びつきも緊密になり、一人一人がもっている良い点悪い点がはつきりと出てきて集団としての深まりも出てきた。

「ぼく」とか「わたし」はみんなの中のひとりであるという関係を、けんかして泣いたり、おこったりする中で、他人がころんだり困ったりするのを助ける中で、確かな形になって意識され、「友達」との関係は、子供たちの生活の中で大きな位置をしめてくれるのだと思う。

ある日こんな事件があった。  
はじめにお弁当をもってきた日のこと、大きな黒いハエがにおいをかぎつけて部屋の中に入ってきた。食べ終わったA君が窓にとまったハエに気づき、走って行ってとうとうとしたが届かない。オルガンの椅子をもってきて、その上に登ったがとどかない。ハエはどんどん上に登って行く。ひとりではうにもならないA君はみんなに声をかけた。「オーイ、ハエだ、ハエがいるぞ」。A君の声をきいてみんながあつまってきた。A君に大声で加勢する子、ほうきをもつ

て来る子、椅子に登って懸命にハエを追っているA君の椅子をしっかりともっている子、それぞれに協力を惜しまない。A君は苦戦の結果「とつた、とつた、ほら！」とみんなにみせた。ハエはハネを

## すい眠と体調

ある国で「人間を眠らせないでいたらどうなるか」という実験をしたら、次のような結果が生じたということであった。

それは個人によって差はあるが(個人による差というのは、二日目から変になったもの、三日目でおかしくなった者ということ)いらいらしたり、ポオトとなったり、ウワ言を言ったり、走り出したりともかくみんな精神状態がおかしくなったそうである。  
これをみると、やはり人間は眠ることがいかに必要であるかがはつきりする。  
そこで私たちは、一日平均どれぐらい眠ればよいかとい

広げてつぶれかかっていた。  
ハエをとるという過発的な事柄にぶつかって、すみれぐみの子供たちは仲間としてのつながりを発揮した。

ふだんの子供たちは、おもちゃの激しい取り合いや、自分の主張をどこまでも言い張り、簡単に相手の立場を受け入れようとしない事がしばしばだが、しかし、そんな雑然とした集団でもその仲間同志の結びつきは育っているのだと言う事を知ったとき、教師としての喜びを感じさせられました。

うと、これも年令によって違ってくるが、大人であれば七・五〜八時間といわれる。これが赤ちゃんであれば一〜一七時間ぐらゐ眠っている。小学生だと一〇時間ぐらゐの眠りが必要とされている。

ところがすぎなだけ眠ることによいと云われて眠ることにして一〜二〜三時間ぐらゐでなくさんで、正常な脳であれば一五時間以上は眠れないようになっていそうである。  
よく二〇時間三〇時間眠っていたという人がいるがそれは異状であり、つまり健康な体ではないということであらう。  
また眠り方にもいろいろな

型があるそうだ。  
例えば、ねついて一時間目頃に眠りが一番深くなり、だんだん浅くなっていく型(Aとする)これと反対に朝近くなって眠りが深くなっていく型(B)深い眠りと浅い眠りをくり返している型(C)浅い眠りだけで深い眠りがほんの少しの型(D)そのほかいろいろあるそうだが、より健康的な眠りの型はA型ということであるそうだ。

こうしてみると、健康であるかどうかということも、眠りによつてだいたいわかることになるといわれそう

みなさんも、自分の健康をためしてみませんか。  
大川原 一主婦

型があるそうだ。  
例えば、ねついて一時間目頃に眠りが一番深くなり、だんだん浅くなっていく型(Aとする)これと反対に朝近くなって眠りが深くなっていく型(B)深い眠りと浅い眠りをくり返している型(C)浅い眠りだけで深い眠りがほんの少しの型(D)そのほかいろいろあるそうだが、より健康的な眠りの型はA型ということであるそうだ。  
こうしてみると、健康であるかどうかということも、眠りによつてだいたいわかることになるといわれそう



セツ  
連休の孫等の帰郷初かつを  
老たちにいで湯の昼げ たら芽合え  
蓬餅老の三人の健やかに  
坂上

我れに似し子はれんげ摘む夕日背に  
芍薬のみごと珠なす朝かな  
寝入る子にはえまつわるをいら立ちぬ  
政美

牡丹剪つて幽きところに置きにけり  
牡丹散つてなお盛衰の残りけり  
牡丹散つて耀くものを見失う  
貞夫

雨音の高く低く春の夢  
廃校舎白き牡丹の朝かな  
初鯉友の便りの長さかな  
光子

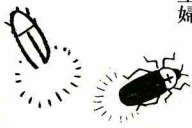
父兄会子と帰る背へ春驟雨  
蛙鳴く闇の矢車音もなく  
朝明けの児の高熱や梨花揺る  
昭二

老教師夫婦は子なく麦を茹る  
耕運機きて夫も切て夕ぼたん  
スト続く鉄道員ら蕨摘む  
善子

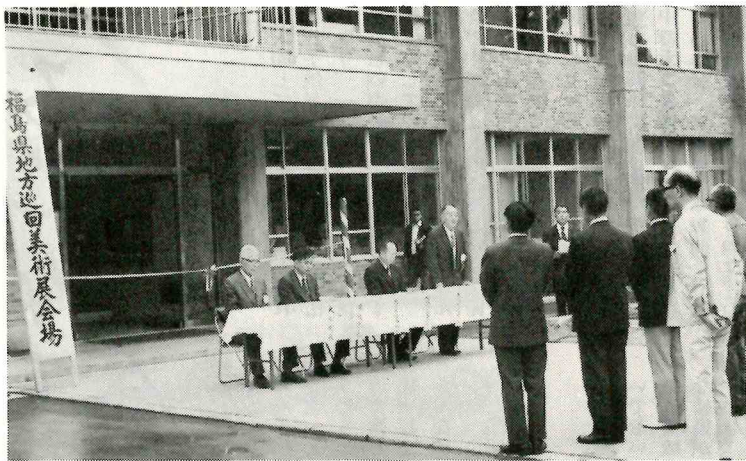
五月雨孫の居ぬ日はあじけなし  
鯉のぼり今日をかざりと吹かれけり  
田植えずみ小雨降る日やホトトギス  
安子

安産の知らせ飼屋の桑の中  
病む床にたゞ遠蛙のみの夜  
生きること春深々と温泉に浸る  
信子

釣の夫肩にかけ来る藤の花  
梨咲いて空の青さに触れにけり  
山笑うそれぞれの色持ち寄りて







美術店の開館式(上)と  
洋画を鑑賞する人々(下)

# 美の心を育む 地方巡回美術展終る

才二十九回福島県美術展の優秀作品を展示した、昭和五十年年度福島県地方巡回美術展が七月五日から八日まで四日間にあたり、大熊町公民館を会場として開催した。

この美術展には、日本画、洋画書等の優秀作品を多数展示いたしました。町内はもとより相双、いわき地方から二千名を越す参観者が訪れ、それぞれ「美」を鑑賞

された。開催期間中は常時、絵画書の専門講師により訪れる方々の質問にお答えした。特に美に心をうたれたのか「私も絵を書きたいが……」と云う方が数名表われ、

絵画教室を開講するべく準備を進めております。

## キャンプの心得



夏です。山や海で自然の素晴らしさをキャンプで感じとることも人生です。楽しいキャンプは、装備を完全にすることが大切です。テント……人数に合せた物を持つていく。

スチック製の容器が手軽、コップ、フェルなどもキャンプ生活には必要。  
※バーナー……簡単に火をおこせるので便利。ガソリン用でもガスボンベ用でも結構。固形熱料などもあると便利。

※食料……米は絶対に持って行く。現地ですぐ買えないものは買っておいておく。味噌、塩、食用油、カンヅメ類は特に必要。  
※寝袋……なければ毛布で代用。  
※雨具……折りたたみ式が重宝、ヤッケでも大丈夫。  
※食器……箸、スプーンなどプラ

※その他……懐中電灯、ロウソク、マッチ、水筒(ポリタンクのように大きいもの)、ナイフ、ナタ、シャベル、簡単な台所用用品(包丁、マナイタなど)、洗面具、薬品。

# 成人式は 8月15日です

今年の成人式は例年通り八月十五日に挙行いたします。各部落の区長さんより成人式の参加者を調査していただきましたが報告もれの方は次により至急大熊町公民館へお知らせ下さい。  
● 昭和三十年四月二日から昭和三十一年四月一日までに生まれた方。  
● 成人式に出席する方  
● 氏名、生年月日、保護者名、住所(番地まで記入)



# 一人の行動から広がる

## 社会向上の波

社会教育委員 愛川 一

最近の社会教育の重要性を考えた時一人の行動の盲目で一町一家も滅びるし、強いては自分自身も自滅するだろう。

毎日、報道機関紙上では必ずと言ってよい程に生命をそまつにする人の多い事が報じられている。今更いうまでもないが、この社会悪の根源を立ち切るには、戦後の社会教育、学校教育の中に人間の源点に立つての生命の尊厳とはなんぞや、との教育がない、それは私個人の変見かもしれないが、先づ生命の源点に立つて、生命とはなんぞやと自問自答して見るなら一人の行動、一人の指導者の運転によって総ての現代社会悪を追究できるでしょう。

現代の学校教育、家庭教育の中でも人間が人間のための教育、生命の尊厳についてお互いに反省し自分自身の間違った行動で多数の人に迷惑をかけるような事は、社会人であるなら判別できる訳です。立派な家庭、立派な町建設のために一人の行動の重要性を考えながら、社会悪を追放しよう。また、

家庭教育、学校教育共に連携を保ちながら各自が生命の尊厳に立つて社会向上の波動となつて行動しようでありませんか。

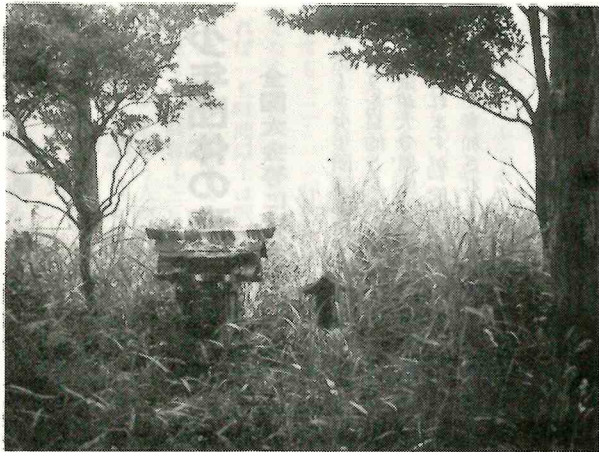
そして、この難局を打開しましょう。

### 家庭の日を

### 大切にしよう

健全な青少年は良い家庭環境に育つと言われている。県と町ではいま「家庭の日」を毎月の才三日曜日とさだめ各家庭において家族全員そろつてその家庭の美情に感じ次のようなことを行うよう呼びかけている。

- ① 家族全員でいろんなことを話し合う。
- ② 家族全員で楽しみあう。
- ③ 家族全員で運動をする。
- ④ 家族全員で勤労する。
- ⑤ 家族全員で感謝する。
- ⑥ その他。



神助明の丘にまつるの堤小

## 話 氏

# 助宗明神物語

助宗の家は、根本、志賀猪狩家と共に岩城氏四殿の重臣であり比佐館主として、代々久の浜の殿上山に居住していました。

関が原の役で岩城氏が没落してから、相馬にきて代々相馬氏に仕えるよ

うになりました。元禄時代に入つて相馬藩では領内に米蔵をつくらたり、堤、堀、切通し、土手などをつくら

って農業の振興につとめました。助宗の父助惣は南標葉郷の代官として三春論山事件で活躍し、五十石の加増をうけました。

助宗もまた、正徳年間に利根川や荒川の河川工事の係などに派遣されておりましたが、藩の南境小

良浜の里に堤を築く命をうけ、里の人々を人夫に繰り出して工事にとりかかりました。上下二ツの堤をトンネルでつな

いだ立派な堤が、助宗の熱心な監督と里人達の努力で年の終りになつてみごとにできあがりしました。

その日、中村のお城から派遣された藩の吟味役が、できあがりを検査するために出張してきました。

堤のほとりの丘の上で工事の模様を聞いたあと、堤の周囲を見て廻った吟味役は、工事小屋

に戻つて上座に座るなり云いました。

「こら助宗、この堤は水を海に注ぐために作ったのか。「びっくりした助宗は、「堤は海に向つて作られてありますが、水は丘を廻りして数町歩の田に注ぎます」と説明しましたが、吟味役は聞くともしませぬ。

「不届至極である。謹慎して藩命を待つように。」吟味役は馬に乗るなり、供をしたがえて熊駅に向つて去つてしまいました。

一言の弁明の余地もあたえられなかつた助宗は、落館の上になつて無念の涙をたたえながら去つて行く一行を見送りました。散りのこつた枯葉をふき散らすしぐれ模様の日だつたと云われています。

その夜、新妻助宗は責任をとつて堤の上の丘で切復して果てました。堤の恩恵をうけた数十人の里人は、切復した堤の丘に小さな祠を建てて、助宗が死んだ日を祭日と定め、赤飯をたいて永く助宗の霊を慰めました。

そして堤の名を助宗の堤、祠を助宗明神と呼んできました。旧正月の十五日こそ助宗切復の日であり明神の祭日なのです。





# 野上・駅前チームが優勝

## 家庭バレー・ソフト大会

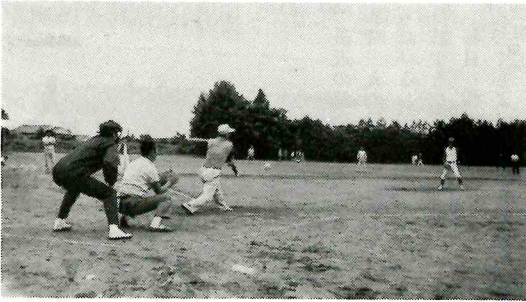
昭和五十年年度町民体育祭採点種目の一つである、家庭バレーボール並びに壮年ソフトボール部対抗試合を去る七月十三日、旧大中学校庭、町体育館の二会場できやかに開催した。

この大会には、町内九部落からそれぞれ九チーム、選手約二五〇名が参加し終始熱戦が展開された。特に今年は各チームとも腕が上達し接戦を展開した。又日曜日とあって応援団、観衆等も多数つめ

かけ町民体育の祭りにふさわしい行事となった。  
なお大会成績は次の通り

優勝	野上
準優勝	駅前
三位	大川原
四位	下野上
五位	夫沢

壮年ソフトボール



熱戦を展開する駅前チームと

優勝した野上チーム

### 少年団体の交流

#### 全国大会等に24名参加

スポーツ少年団活動の交流と仲間づくりを目的としたスポーツ少年団大会が大分県他三会場において開催されますが、大熊町からは次の方々が参加されます。

優勝	駅前
準優勝	夫沢
三位	町区
四位	野上

#### ◆ 全国スポーツ少年大会

場所……大分県湯布院少年スポーツセンター

参加者 佐藤修峰 大和久 島和弘 熊二

#### ◆ 東北スポーツ少年大会

場所……岩手県国立岩手青年の家

参加者 泉田敬義 野三 和田勝人 夫三

田名網サイ子 熊二

◆ 県スポーツ少年大会

場所……福島市

参加者 伊藤清人 大和久 渡辺 健 野三 泉田みゆき 野三 管波深雪 熊二 佐藤いずみ 小良浜

#### ◆ 日独スポーツ少年団交流八月

場所……いわき市こどもの村

参加者 奥山 稔 夫一 前田文子 小良浜 高野裕子 下四 田中ミナ子 下四 奥山美和子 夫一

## 家庭の日

### 作文募集あんなない

福島県では「家庭の日」を機会に個々の家庭が、わが家のあり方を検討し、よりよい健全な家庭づくりの意識を高めるため「家庭の日」作文を募集しております。

◆ 主 題 「家庭の日」  
◆ 対 象 <子どもの立場>  
「家庭の日」を中心に家族みんなが話しあい、協力しあい、楽しみあっているようすをとりあげたもの。

<親の立場>  
「家庭の日」のあり方、考え方、家庭づくりの努力、これからの家庭などについて建設的にとりあげたもの。

#### ◆ 募集期限

昭和50年9月30日

#### ◆ 募集対象

県内に居住する年齢6才以上の者。

#### ◆ 応募方法

- (1) 400字詰原稿用紙(B4判)を使用して縦書をとする。
- (2) 応募作品は1人1点とする応募様式、その他詳しくは大熊町公民館へお問い合わせ下さい。

#### ◆ 入 選

小学校の部、中学校の部、高校・一般の部の各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞、佳作若干入選者には県知事から賞状並びに賞品を贈る。

### スリッパ一〇〇足寄贈

下野上五区の下宮さん

このほど公民館のスリッパがひどくいたんでいたので是非新しいスリッパをと下宮秀三さんが寄贈関係者一同喜んでゐる。紙面の一部をお借りして厚く御礼を申し上げます。





# 部落ぐるみの奉仕活動

## 夏祭りを復活する

夫沢三区では、青年会（佐々木勝男会長他十三名）と部落（佐々木正男区長）が一体となり部落内にある馬頭観音東堂山の夏祭りを復活させようと云うことで、昨年は建物の一部を修理された。

今年には部落民の協力を得、高さ四、五米の唐葉造りのやぐらと同

部落の武岡藤五郎氏の手で建造された。またこれを聞いた部落老人クラブ（鈴内喜子衛会長他四十二名）では東堂山境内の雑草刈り等の清掃奉仕に汗を流し、部落ぐるみの奉仕活動となった。そして、八月十六日には部落民総出で、きれいになった東堂山境内での夏祭

りを楽しめると期待を寄せている。このように最近あちこちで日本古来の伝統を復活されるようになり、故郷のよさをいつまでも受け継がれていくことは誠に喜ばしい限りであり、暖かく見守りたいものである。

## 花いっぱい運動推進中

### 熊二区生活改善グループ

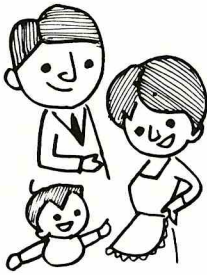
熊二区の生活改善グループ（代表朝田ヤスさん他四十名）では、町内を花で飾ろうを合い言葉に、「花いっぱい運動」を進めている。今年はずり初めとして、役場、農協保育所、公民館等にマリンゴール

新しい稲づくり  
最近田植機ができて従来のお祭り騒ぎをしなくてもすむようになった。ところが今度は機械のいらぬいペーパーポットが流行している。空中田植えともいわれ、特別

の苗を仕立て、田のクロから空中高く投げる田植えである。手の届かない所は田の中に入って投げればよい。昨年は唐沢の山本幸一氏が試験的に三反歩やってみたら、前年より二割ぐらいの増収だったというので今年は八反歩この方法で植えたそうである。隣近所も小面積であるがやっている。又野上の杉内喬さんも深い田六反歩植えたが今分ではよいと聞いている。植えた田をみると、すきまが多く、まちがってしりもちついても稲をいためない様な所もあるが、充分の日光と空気に恵まれ見るからに健全な稲である。又植えたのではないから株は充分に四方に開いている。六月中旬ごろ田の中に入

## 家庭の日に想う

私たちのまわりには、子供たちの心の成長を阻害するような要素がたくさんあります。悪書のはんらん、遊技場の乱立、覚



醒剤の市販などどれをとってみても親たちの心を寒からしめるものばかりである。特に夏休み期間中は子供の心もゆるみがちである。町内のお父さん、お母さんみんな手をつなぎ愛情の環で子供たちを守ろうではありませんか。それがため次のようなことを勇氣をもって実施して頂くことを願うものです。

自分の子供でも他人の子供でも優しく指導して悪の道に入らないよう心をくばりましょう。

- ※子供の読むべき本でない悪
- い本は読んでいないか。
- ※遊技場などについて無駄使いをしていないか。
- ※覚醒剤等は持っていないか。
- ※交通道徳は守られているか。
- ※悪い先輩等と交際はしていないか。
- 子供とよく話合う機会をつくらせて子供の心をすくすくと伸ばしましょう。

下野上 一父兄



—公民館の前庭に  
草花を移植する会員たち—

ド、アゲラタム、ケイトウ、サルビアの四種類の草花を植えられたこのグループでは年間を通して、料理講習、健康管理、視察等、定期的な学習を行っている。特に双葉農業改良普及所の指導もあり、みのある団体活動として他から注目されている。

稲をいためない様な所もあるが、充分の日光と空気に恵まれ見るからに健全な稲である。又植えたのではないから株は充分に四方に開いている。六月中旬ごろ田の中に入

かし穂がでると一面稲の穂でこのすきまはなくなってしまうというバインダーでも刈れるそうである心ある方はごらん下さい。(松本)



### 朝夕は あいさつを

「おはようございます。元気な声がバイクの音と共に私の背中を駆け抜けた。」「はい、おはようございます。反射的に大声を出してふり向いたらバイクはもう曲り角を左に折れて、チャッという声の後姿が見えただけだった。あの声はまさにもない近所のA青年だ。朝の田んぼの見回りの帰りだろう。朝道ばたの草刈りをしていた私は、威勢のいい朝の才一声に元気づけられて一日中なんとなく張り切って作業をする事ができた。」

私がこの家に来た頃お姑にこう教えられた。「仕事をしている人には声をかけるな」と。理由はいろいろに考えられると思うが要は仕事の邪魔をするなど云う事でも互にその立場に立つての思いやりでもあると思うが、しかしたった一言のあいさつで互の心が暖



最近ヘイのわき、道路の両側などに花を植えて道行く人を楽しませてくれる人が多くなった。誠に結構なことであり、もっと多くの人がお願いしたいことだと思う。所が毎年苦労してサルビヤを植

かくふれ合えるものなら、やはり気軽に交わりたいものである。とかく私達は、親しければ親しい程あいさつぬきの習慣があるが、日本古来の礼儀の才一步である朝夕の言葉は幼少の時から各家庭でしつけるべきではないだろうか。古人曰く「親しき仲にも礼儀あり」と今や世界は一つといわれ外国との交流も盛んな中で、来日する外人が片言でこれだけは、とマスターしてくる日本語それは、おはよう。こんにちは。ありがとう。さよなら等々。又、海外に出かける人達もまず気になるのは各国のあいさつの言葉であろう。お互いの心のふれ合いのきつかけとなる大切なものそれはあいさつであると思う。

夫沢(ひまじん)

### 孫の授業参観

大川原老人大学一年生

今日、私は孫の授業参観に行っ

てと頼まれて、学校にかけつけてみたら体育の時間であった、白いユニホームに赤と白の帽子、どれが孫なのか分らない。ところが孫は私を見つけて両手を振って喜び隣のお友達にもうちの婆ちゃんに来てから見てという風にくるりと廻って足ふみしながら両手を振る。その子どももニコニコと笑った。

私も手を振って何回も答えた。あ、来てよかったとつくづく思った。そして嬉しさをかみしめきれず隣のママさんに「あれうちの孫なの。あんなに喜こんでいるんですよ」と言いましたら、その方は「今の内だけでですよ。高学年になると授業参観など来るなどという様になりますよ」といわれた。私は煮立っている小豆にオドロカシ水を注がれたような気持ちになりましたが、そこは七人の子どもを育てたベテランのつもりです。「そんな事を言わない様な育て方をするんですよ」と答えました。私の長男はおよそ四十才、それでも私は毎晩のように水田の水加減について注意しました。息子はその時は目をつむり、両腕をくんでじっと聞いている。「あとはないか、分った、分った」と目を開く。俺も白毛になって百姓も十五年、自分なりに一人前のつもりだが、こうして教えてくれる母がいて最高しあわせに思うと頭を下げる。おどけた仕草に私も息子もアハハ、アハハと笑いころげる

花を愛する男

### 忙中閑あり

孫は私とパパを見くらべてニコニコ、ママも読み物をしながら笑っている。

ああ、それではおやすみなさいと、私は自分の城にもどるとき、幸わせで胸がいっぱいになる。

農家にとって一番忙しいのは何といっても田植時である。昔からネコの手も借りたい程の忙しさだといわれた。ふだんはあまり仕事をしない老人でも、この時だけは年を忘れてお手伝いをしている。下一区に住むOさん(六二才)も例外ではなく、この時だけはまさに第一線で働く労働者である。

所がある日、田植の最中、リヤカーに上つて家の前にあるカーブミラーをきれいにふきとつていたカーブミラーは余りよく写らないものとはかり思っていたのに、目の悪い私にも車がよく写るようになった。この忙しい最中にもこんな時間をみつめて奉仕する心がけに私は感謝した。

(近所の人)

### 高校生の皆さんへ

車中の出来事です。ある朝列車にのり五分程待時間がありません。A君が一年生のB君の手袋を窓から投げてしまいました。駅員の方

### ガムの包紙

私は夜の森駅で汽車にのるため待合室に向った。駅前広場にはある中学校の生徒の一群が小雨ふる中に立ってガムをかんでいた。これはよいとしても包紙があたり一面にちらしても平気である。私は見るに見かねてある一人に小声でガムの包紙を拾っておきなさいと注意した。そのまま私は待合室に入った。後でみると包紙は一枚も見当らなかつた。私は素直な生徒達に感心するとともに、私たち大人は青少年のまちがった行いを見逃しているように感じた。

(一老人)

はそれとは知らずやつとおもいで線路から拾ってくれました。またある日、帰りの列車で一年生の生徒さんが大変困っているところも見受けました。一人のために皆の雰囲気をごわしてしまいます。上級生の皆さん、下級生から親しまれ信頼されるリーダーになつて下さい。そして下級生の皆さん。どんなことでも先生によく相談なされて、くじけることなく希望は高く着実に人間性豊かな立派な人になつて下さい。

大熊町 一主婦